

読んで知ろう!
住んでいるまちの
議会情報!

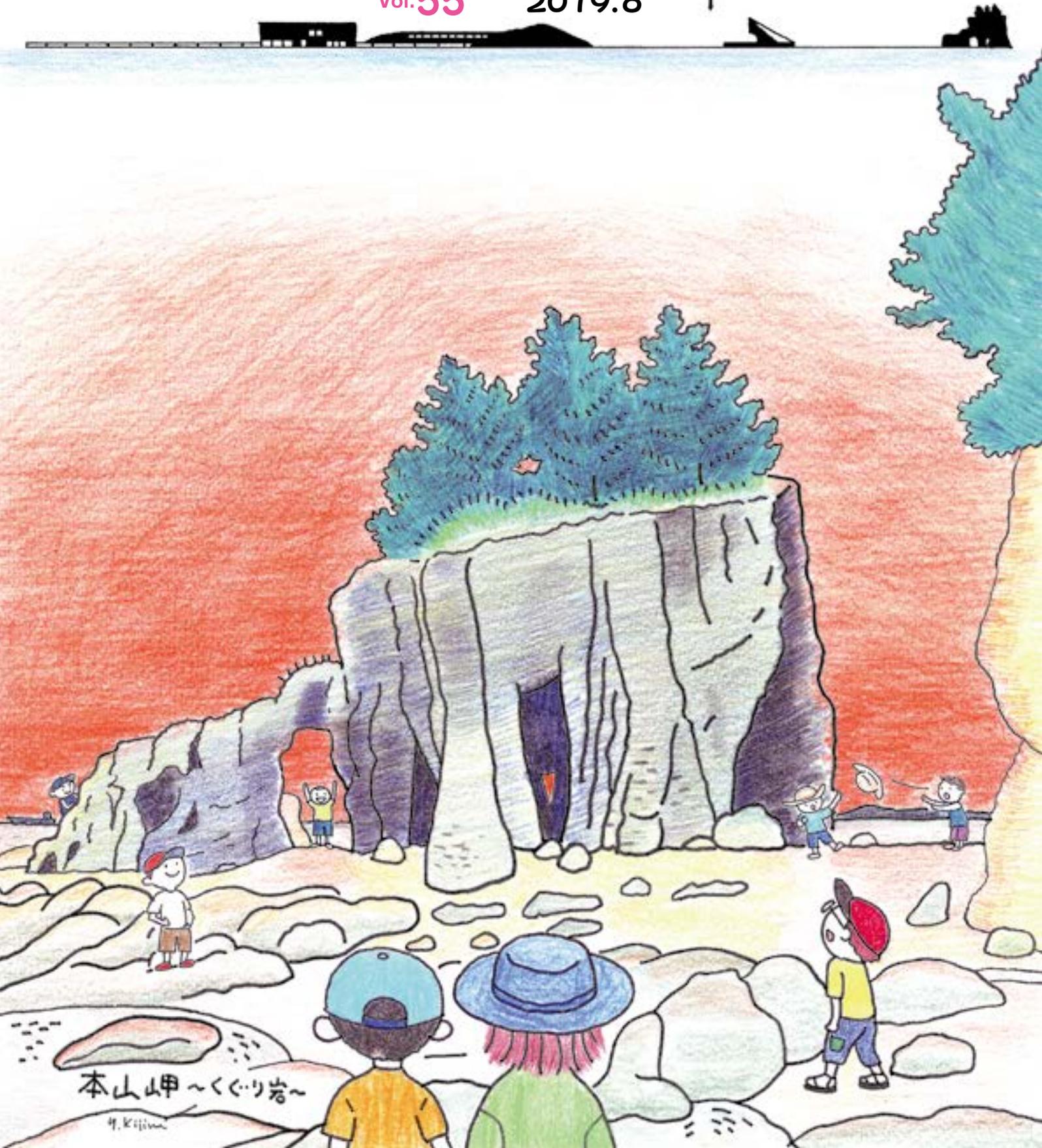
市の議会

ザンギカイ

Vol.55

2019.8

補正予算	・・・ 2
委員会レポート	・・・ 4
一般質問	・・・ 5
賛否の分かれた議案	・・・ 14



本山岬〜くくり岩〜

4.Kijima

商工センター再整備に向けた調査

6月議会の一般会計補正予算で、市民生活に直結するものおよび今後のまちづくりに必要な施策等取り急ぎ措置することが必要な案件が予算化されました。その中から、官民連携による商工センター再整備調査事業と理科大薬学部危険物貯蔵所の増築設計委託について特集します。

概要 山陽小野田市商工センターは、竣工から40年近くが経過し、老朽化が著しく、再整備に向けた検討が必要であることから、国土交通省補助事業を活用し調査を実施します。

小野田商工会議所・山口銀行が官民連携のパートナーとなり、まちづくりの視点に立ちPPPの手法を用いて、商工センターおよび山口銀行小野田支店の再整備、土地活用等を検討するものです。

- 予算額 1350万円（国土交通省補助 全額）
- 委託先 YM-ZOP（※）との随意契約を想定
- 調査期間 令和元年7月～令和2年2月（予定）



現在の商工センターと山口銀行小野田支店位置

主な質疑

Q YM-ZOP（※）から、いつ頃提案があったのか。

A 昨年末に提案があり、小野田商工会議所および山口銀行と協議し、国に補助事業申請し、5月末に採択された。

Q 市は新会社へ土地の現物出資のみで、出資割合が非常に少ないが発言権の少ない出資者にならないか。

A 調査を終え、事業体を組成協議する中で決めていく。調査業務ではにぎわいの創出がとても重要であり、まちづくりの観点から官民一体になり取り組む。

（※）YM-ZOPとは…
山口銀行フィナンシャルグループ内の地方創生に関する自治体支援をしている会社



山陽小野田市商工センター

理科大危険物貯蔵所を別途建設

概要 市は理科大危険物倉庫棟（工事費 9350 万円）を平成 30 年 11 月に完成させました。しかし、完成した建物は危険物貯蔵所を設置するための関係法令の基準を満たしていないことが判明しました。改修か新築かを協議しましたが、薬学部では 2 年生から授業で実験を行うことから早急に危険物貯蔵所が必要と判断し、別途建設するための設計委託料を補正することとなりました。

- 予算額 176 万円（設計委託料）、5 万 1000 円（手数料）
- 新たに建設する危険物貯蔵所工事費（概算） 約 1000 万円

主な質疑

- Q** 設計会社から出た設計図書どおりに危険物倉庫棟に耐火被覆を施工していれば、問題が起きていないのではないかと。
- A** 担当課で、耐火被覆を施工する場所が設計図書から読み取れなかった。そのため、設計会社に電話で確認を行ったが両者の認識がずれたまま入札を行ってしまった。
- Q** このような事態に陥った原因の究明や責任の所在を調査し、議会に報告するのか。
- A** 当然、市としてこのような事態を招いた責任がある。関係者等に事実確認を行い、議会に報告したいと考えている。



平成 30 年 11 月に完成した危険物倉庫棟

- Q** 新たに建設する危険物貯蔵所の工事費（概算）はどれだけかかるか。
- A** 1000 万円程度とみているが、具体的金額は分からない。

賛成討論

学生の授業や教授の研究等、大学の運営に支障を起ささないためにはやむを得ない。関係機関と再度協議し再発防止を図り、既製品等の活用など必要最小限の支出にするべきである。

反対討論

大学建設の遅れによりこれまでに数千万円の追加予算がかかっている。しかし、責任の所在が明確に示されていない。市民の税金を無駄に使用するが、市長の議案説明の際、この予算が説明されなかった。議会への丁寧な対応を怠ったことは問題である。

結果 賛成多数で可決

抗体検査の無料クーポン券を配布

●元年度一般会計補正予算

概要 風しん患者数の増加を受けて、予防接種を受ける機会がなく、抗体保有率の低い世代を対象に無料クーポン券を配布します。今年度は昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に抗体検査を実施し、陰性の人に対しては予防接種を行うことで風しんの感染を防ぎます。

主な質疑

- Q** クーポン券の発送人数は。
A 2950人に発送予定である。
Q 今年度対象外の場合はどうなるのか。
A 対象外であっても、希望者は利用者負担なしで抗体検査や予防接種が可能である。
Q 抗体検査等の医療機関の指定方法は。
A 医療機関の手上げ方式による。

- Q** 利用率を上げるための考えは。
A 職場の検診や特定健診の機会を通じて一緒に受けてもらえるよう風しん対策事業のPRを行っている。

《抗体検査・予防接種までの流れ》



誰でも分かりやすい住所に改める

●住居表示の実施

概要 今回の住居表示実施予定区域は、大字西高泊の一部約5ヘクタールの区域で、上の郷自治会です。住居表示の方法は街区方式とし、当該区域の住居表示を実施することで、誰もが分かりやすい住所に改めることができ、住民の利便性向上に寄与することが期待できます。

主な質疑

- Q** 今後の法的手続きはどうなるのか。
A 議決後、上の郷自治会等で新町名等についての協議をされ、それが決まれば市へ報告があった後、法律に基づき30日間の公示となる。その後、住居表示の審議会を経て、再度市議会の議決が必要となる。それから最終的に告示を行って、住居表示の実施に向けて進めていくことになる。

- Q** なぜこの時期に、この地域の住居表示を実施するのか。
A 随時進めていくべきものと考えている。今年度については、上の郷自治会との話し合いの中で要望があったものである。
Q 住居表示についての周知徹底はどのようにするのか。
A 対象区域の住民には、新しい住居表示についての通知文を出し、市全体には、広報やホームページ等で、周知していく。

結果 全員賛成





市職員の社長就任は違法

【今回の一般質問】

- ・ 埴生地区のレーダー基地建設
- ・ 法改正に伴う市営住宅連帯保証人の見直し
- ・ 小野田青果市場の運営正常化

青果市場

問 青果市場の運営正常化に向け、(株)小野田青果販売は業務停止しているはずなのに、いまだに商品が店頭に並んでいるのはなぜか。

答 ラベルの間違いではないかと思うが調査する。

問 市の職員が民間会社である小野田中央青果(株)の社長に就任しているが、地方公務員法に違反しているのではないのか。

答 地方公務員法で禁止規定はあるが、市長の許可を要件として例外を認めている。中央青果は市が50%出資する会社であり、業務は時間外に行い、職務への影響はない。無報酬で、緊急避難的であり許可もやむを得ない。

市長が社長に就任すれば問題ない

問 市が都合のいいように判断し機能不全におちいつている。この問題は他市からも笑いものにされる事例だ。職員の社長就任は違法に当たるが、市長が副市長であれば問題はなかった。市長による就任は市場条例にも規定があり、副市長は時間の縛りがない特別職であるので副市長が就任してもよかったのではないのか。

答 3月20日の取締役会の中で決まったことであり、市長の社長就任は該当しないということしか答弁はできない。



青果販売のラベルのついたタマネギ



危険通学路

問 厚狭駅南部地区まちづくり基本計画のコーポラティブ住宅整備はなかなか進展しないので見直し、または他の方針を検討するべきではないか。

答 基本計画の主体である厚狭駅まちづくり協議会等にも諮って代替案の構築や基本計画を見直していく必要がある。

問 JR美祢線利用促進協議会が新幹線の「ひかり」や「さくら」の厚狭駅停車をJR西日本に対し要望するが本市はどのように関わっていくのか。

答 本市だけではなく美祢市、長門市の3市で今後どのような形で進めていくかを協議していく。

通学路は安全でなければならない!

問 厚狭地区鴨庄の一丁田バス停付近から厚狭新橋までの危険な通学路である市道成松山川線の道路整備計画は進んでいるのか。

答 社会資本整備総合交付金を活用して令和2年度から現地測量と詳細設計を行い、その後工事着手により道路整備をしていく。

問 厚狭駅前交差点から北に延びる都市計画道路中央通線の特に山陽商工会議所付近の道路整備計画は進んでいるのか。

答 令和元年度より通学路交通安全対策を実施していく。

子どもたちを守るために道路整備を

【今回の一般質問】

- ・ スポーツ振興
- ・ 都市計画マスタープラン
- ・ 空家対策の実践的な取組み



ささきよしゆき
笹木慶之議員



総合窓口により サービス向上を

【今回の一般質問】

- ・持続可能な行財政の取組み
- ・窓口サービス向上の取組み
- ・テレビ共同受信施設の維持など

総合窓口の設置

問 運用の改善、情報通信技術の活用および窓口配置の見直し等により窓口サービスの向上を行う必要があるとされている。出生、死亡、転入、転出等は定型業務であり、総合窓口を設け1カ所に対応すべきと思うがどうか。

答 複数の窓口でその都度、書類の記載が必要であり、市民に不便をかけている。しかし、現在の本庁舎ではロビーが狭く総合窓口設置の確保ができず、現状では困難である。現在においては、市民課窓口で手続きの際、関連する手続きにつき資料などにより説明、案内に努めている。今後、手続きの簡素化に繋がるシステムの導入などを研究する。

テレビ受信施設受益者の不安解消を

問 平成23年7月のデジタル放送への完全移行の中で、総務省の補助金交付制度によってテレビ共同受信施設を整備された組織および受益者がいる。年を重ね施設の老朽化が進む中、弱小組織においては施設の維持に不安が募る。公共の電波は国民の財産であることを踏まえ市は対応をどう考えているか。

答 国においては、所期の目的を達成したことを理由に補助制度を終了した。関係する市民が大変不安を感じていることは十分推察している。今後、県と協議をしながら、必要な対策について国に要望していく。



望まれる総合窓口の設置

廃校が提案されている津布田小学校



津布田小学校

問 教育委員会より津布田小学校を廃校し植生小中一貫校への統合が提案されているが今後の進め方はどうか。

答 学校適正規模・適正配置基本方針に沿って協議を進めている中で、現在は保護者の総意を取りまとめていくことを、まず前提に考えている。今後、保護者から統合の要望が出た場合は、それを受けて地域での説明会を開催し、住民の意見を聞きたいと考える。

早急な方針の見直しを！

問 学校適正規模・適正配置基本方針の見直しはするののか。

答 骨子は変わらないと考えるが、不十分な点もあるので今後総合教育会議等を利用して、協議を進めて見直しを行っていききたい。

問 小学校がなくなる地域のまちづくりをどう進めていくのか。

答 学校の統廃合は、子どもファースト保護者ファーストで考えるのが第一義的だが、今後郷土愛をどのようにして育てていくかということを中心に、地域と行政が一緒になって、協議検討していく必要があると考える。

問 具体的な計画がないまま判断が委ねられている中、今後の計画をしっかりと打ち出して協議をしていくやり方はできないのか。

答 計画案はできている。協議の場に呼んでもらえるのであれば説明する。

小学校の在り方 とは

【今回の一般質問】

- ・津布田小学校廃校が提案されていること
- ・ブロックチェーンを活用しての行政運営



いばまさむ
伊場勇議員

もりやまよしひさ
森山喜久議員



**業務量は増えても
職員は増えない**

【今回の一般質問】

- ・市職員の働き方改革
- ・地方卸売市場の正常化

働き方改革

問 市職員の働き方改革について、現状はどうか。

答 市職員の働き方の現状は複雑化、多様化する市民ニーズ、権限移譲等に伴う事務量の増加に対し、安定した行政サービスを維持するための一定の職員数の確保も難しい状況であり、職場環境は大変厳しい。

問 法整備されて「年休を取得しなさい、時間外縮減しなさい」と言われても、できないのが今の職場である。本当に実践するには仕事を減らすか、人員を増やすかしかないが、どう考えているのか。

答 業務量は減らないというのが現状で、職員がさまざまな市民ニーズ、多様なニーズに対応するために動き、忙しい思いをしていることも把握している。今がベストだとは思わないが、現状の職員の中でいかに効率的にできるか、適正な職員配置になるように取り組みたい。

職場環境の改善に取り組む

問 課、係、担当の仕事内容や分担の認識が、課長、係長、担当で少しずつずれが生じているのではないか。

答 職場を円滑にするためには業務の習得等いろいろあるが、上司と部下のコミュニケーションが一番である。上司のマネジメント研修に力を入れて、積極的な職場でのコミュニケーションを通じて職場の課題を把握し、上司に部下の勤務時間の管理や休暇の取得にも配慮させることで、職場環境の改善に取り組んでいきたい。



道路の整備

問 地域住民から「車道が波打っている。大型車の走行で車のわだちがひどく、軽自動車等の運転に支障が出ている。事故の心配もある。また、雨天時には歩道側に水しぶきをかけることもある」との声があるがどうか。

答 市道は、438路線、総延長322kmあり、全ての路線を常時パトロールすることは困難である。舗装道路の不具合に対し、まず現場確認を実施し、危険度が高い場合、即時補修を実施している。

舗装道路に不具合はないか

問 排水性舗装にすると、水たまり等の改善、車がスリップしにくいことで事故防止になる。この舗装工事の考えはどうか。

答 排水性舗装には大きなメリットはあるが、高額な改修費用となるため、計画はしていないが、今後は石油貯蔵施設立地対策等補助金の利用を考えていきたい。

問 歩道の街路樹の問題として、歩道面における根上がりにより、通行に際し歩行者や自転車等への大きなトラブルの原因にもなっているが対応はどうか。

答 根上がりが原因で歩道の舗装を押し上げ、また段差ができることもある。緊急性があれば修繕対応を行っている。昨年、市道に関しては一応全部確認している。今年度、予算確保ができ、緊急性の高いところから順次整備していく。

**道路維持管理は
大丈夫か**

【今回の一般質問】

- ・道路の整備
- ・市の管理する浴室の運用
- ・各公園における遊具の管理



おかやまあきら
岡山明議員

高松秀樹議員



市内業者の受注機会を確保せよ

【今回の一般質問】

- ・ 障害者等専用駐車場
- ・ 中小企業の振興
- ・ 高千帆地区の浸水対策

浸水対策

問 市内業者への受注機会の確保のための新たな方策は何か。

答 物品調達等の標準指名業者数を、平成31年4月1日より、予定価格100万円未満3者以上を200万円未満3者以上に、予定価格100万円以上500万円未満5者以上を200万円以上500万円未満4者以上に、予定価格500万円以上7者以上を500万円以上5者以上に変更した。

想定外の洪水に備えて

問 有帆川の横土手側にある木製の開口部および小野田橋を境に、横土手側と旭町側の堤防の高さが違うが、この危険箇所の対応はどのようにしているのか。

答 開口部については、山口県宇部港湾管理事務所との協議により、閉鎖する方向となっている。また、堤防の高さに関しては、高潮事業として、下流側から堤防を上げる作業をしている最中なので、時間はかかるが、堤防の高さを上げていく。

問 高千帆地区の具体的な浸水対策はどうなっているのか。

答 沖中川流域についての整備計画の全体工事費が約64億円の事業となるため、段階的な整備計画にしている。短期、中期整備計画では、3年に一度起こる規模の時間雨量42ミリの降雨に対応できる整備計画としている。また、長期整備計画では、10年に一度程度起こる規模の時間雨量55ミリの降雨に対応できる整備計画としている。



浸水した高千帆地区

期日前投票所設置予定の商業施設



投票率向上対策

問 4月に実施された県議会議員選挙において、前回に比べ候補者が多く、投票率アップが期待されたが、予想に反し前回は下回った。その原因等の分析はしたか。

答 県平均の投票率も前回に比べ、3.49%下回り44.03%であった。本市は投票のあった県下10選挙区中8位の投票率で、地区別では旧山陽町の50.44%に対し、旧小野田市は38.40%であった。また年齢別では、18歳から20代までの若年層の投票率が問題視されているが、壮年を加えた18歳から53歳までの投票率も28.39%と低い。逆に54歳以上では全ての年齢区分で平均値を超えた53.47%であった。若年、壮年世代の政治への無関心と地方選挙への関心低下が影響していると思う。

問 低下傾向にある高齢者の投票率確保のため、移動投票所の導入を検討すべき時期に来ているのではないか。

答 移動投票所は全国的にも広がりを見せているが、合併後も投票所の統廃合はしておらず、投票所まで3km以上ある地区はない。今後調査検討はするが、今は考えていない。

令和4年、商業施設に期日前投票所

問 大型商業施設等の期日前投票所設置実施に向けての進捗状況はどうなっているか。

答 若い世代が集まる商業施設での期日前投票所の開設は、有効な手段であることから実施に向け検討しており、令和4年2月の県知事選か7月の参議院選挙には実施したい。

選挙投票率向上対策は

【今回の一般質問】

- ・ 更生保護
- ・ 連携校と一貫校
- ・ 投票率向上対策 など

中村博行議員



キャッシュレス化の対策支援を

【今回の一般質問】

- ・駅前駐輪場の整備計画
- ・キャッシュレス化
- ・理科大生の住居施策

問 キャッシュレス化について市内の現状をどう見ているか。

答 コンビニや大型商業施設など一部店舗においてはカードやモバイル決済などキャッシュレスの導入が見られるものの市全体で言えば進んでいない状況にある。

問 市民や事業者への情報提供の施策はあるのか。

答 夏ごろに関係機関と連携してキャッシュレス決済の導入を進めるためのセミナーや体験イベントの開催を予定しており、それを通じて市民や事業者の不安を解消していきたい。

問 公共施設利用料などのキャッシュレス化はどう進めていくのか。

答 現在、コンビニ納付を可能としている公共料金はクレジットカードの収納やスマホアプリを利用した納付について検討している。公共施設利用料については導入コストや通信環境確保の観点から具体的に進んでいないが、市民の利便性向上や業務効率化へ向けて研究していく。

事業者へのキャッシュレス化支援を

問 市内事業者へのキャッシュレス化支援策はどうか。

答 事業者が店舗にあったプランを選択できるように両商工会議所とともに周知を徹底し、国や県の動きを見ながらきめ細やかな支援に努めていくが、事業者や商業者団体に対する本市独自の補助金は考えていない。



券売機による料金授受



問 青年の家のスポーツ・レクリエーション施設の将来構想はどうか。

答 本市公共施設等総合管理計画では、老朽化が進んだ研修棟、天文館、休憩所等は解体する予定で、体育館、グラウンド、テニスコートは利用者が多く、スポーツ施設として維持、管理、運営をしていく。今後は青年の家を含む糸根公園をレクリエーション拠点として充実を図っていく。また、将来構想については、平成28年度から庁内検討組織を設け、民間企業の提案や官民対話を実施した。今年度は、隣接する農業観光施設「花の海」と協議をしていく。

価値ある投影機ミノルタ MS-10

問 天文館の役割はどう考えているか。

答 小学生のうちから宇宙や星や自然環境のことに興味、関心を持ち家族や友達とコミュニケーションを図ってもらうために53年前に建てられた。昨年度の利用者数は星の教室などを含め延べ238人であった。

問 稼働している日本一のプラネタリウム「ミノルタ MS-10」は今後どうなるのか。

答 このミノルタ MS-10は53年前の昭和41年4月に製造された国産プラネタリウムの中で最古級のものである。建物は老朽化のため解体が計画されているが、精密機器類は保管展示する道ができればと考える。

青年の家

青年の家の将来構想は

【今回の一般質問】

- ・青年の家の将来構想
- ・ふるさと文化遺産
- ・埴生地区複合施設整備事業ほか



よしながよしこ
吉永美子議員



環境を考える きっかけにしよう

【今回の一般質問】

- ・ 環境問題
- ・ 子どもの安全対策
- ・ 投票率向上の取組み など

食品ロス削減

問 本年3月議会で、「環境展を水道展と一緒に開催しては」と提案し、6月1日および2日、水道展と初の共同開催がされたが、その総括と今後の予定はどうか。

答 今年度は農林水産課の森林保全の啓発展示も加わり、水道展との合同開催による相乗効果もあって、2日間で約1700人の来場があった。常に来場者が途絶えない状況で、非常に盛んな催し物になったと思う。今年度の盛況ぶりも考慮し、さらに内容を充実させて、来年度以降も水道展との合同開催を進めていきたい。

「もったいない」を「ありがとう」へ

問 まだ食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」の削減を目指す食品ロス削減推進法が成立したが、本市はどう取り組むか。

答 国の基本方針等との整合性を図る中で、本市の推進計画を策定することになるが、今後の対応については、環境部門に限らず、食品の生産から商品に至る一連の過程に関係する全ての部門・部署が一丸となって取り組まなければならないものと考えている。

問 この法律には、毎年10月を食品ロス削減月間とする規定が設けられている。フードドライブを含めて、本市のオレンジ月間と共に推進すべきではないか。

答 オレンジ月間には、さまざまなイベントが連携して行われるようになっているので、しっかりと検討していきたい。



来年も乞う御期待！水道展＆環境展



観光振興

問 本市の第一次観光振興ビジョンは今年度が最終年度だが、これまでの取組みはどうか。

答 「訪れるひと 住むひと 心響きあう まち山陽小野田」の基本理念のもとに、観光資源の魅力向上と利活用、情報発信・PRの充実、推進体制の充実とホスピタリティ向上および広域連携の推進の4つの基本戦略を掲げている。市民や関係団体等との連携・協力を図りながら観光のまちづくりを推進してきた結果、観光客数は目標値110万人に対して、平成26年の約96万8000人から平成29年は106万1000人と増加した。

第二次観光振興ビジョンの策定は

問 観光客の受け入れなどは、市民の生活の場に外部の人間が入ってくることなので、市民との対話を行い、理解を深める必要があるが、第二次観光振興ビジョンの策定に向けて、どのような考えで臨むのか。

答 観光振興ビジョンを策定するに当たり、実効性を担保するためには市民が熟知する、また自分たちも一緒にこのビジョンをつくるというような機運が必要である。そこで検討委員会のメンバーは、観光関連の専門家だけではなく、市民から公募する。その中で、自由活発な議論を深めて、第二次観光振興ビジョンを市民の力でつくっていきたくと考えている。

観光振興ビジョン を検証する

【今回の一般質問】

- ・ 観光振興ビジョン
- ・ 観光プロモーション調査
- ・ 農業振興



ふじおおさみ
藤岡修美議員

かわのともじ
河野朋子議員



スピード感を持って行革を

【今回の一般質問】
・行財政改革

行政改革

問 第一次行政改革プランが策定されたが、どのように取り組んでいくのか。

答 税収の減少や社会保障費の増加で、厳しい財政状況が見込まれる中、行政改革を今後も引き続き行っていく必要があり、改革プランを作成した。6つの基本項目と「公共施設の最適化」「民間活力の手法の研究、導入」など25の行動計画を定めた。

市民の理解を得るために説明を

問 公共施設の最適化はもっとスピード感を持って進めてほしい。再編を進めるには市の厳しい財政状況を説明し個別の施設の維持管理費や建て替えた場合の費用を算出し、市民に公表し理解を得ることが欠かせないと思うが、どうか。

答 指摘のとおりと思う。その方向で進めていきたい。

問 最近は埴生の複合施設建設での入札不調や理科大の危険物倉庫の建て替え等、必要と思えない高額な費用が発生している。健全な財政運営を目指し、この改革プランを実現するために、市長自らリーダーシップを発揮し職員の意識改革をしてほしいがどうか。

答 財政状況について市民と十分に気持ちが共有できているかについては、若干、以前ほどではないかもしれない。具体策も織り交ぜ、決して気を緩めず、市民にわかりやすい情報提供をし、理解を得られるよう進めていきたい。



行政改革の行動計画



問 年度当初の施政方針は、いつ、どのように総括するのか。

答 施政方針等は、当初予算に向けた市長の市政運営に対する基本的な考え方とその方向性を具体化したものである。昨年度の施政方針の総括は、今年度の決算委員会でされるため、今年度の当初予算には反映されない。今年度の実施計画策定は、平成29年度の決算と平成30年度の事業評価を基に、市長協議を経て決定している。

任期中に前倒しで方向性を出す

問 市長の任期は4年であるが、今の回答で、この任期中に市長の思っている市政の結果が出せるのか。

答 ベースとなる総合計画を進めるにしても、時間的な問題もあり4年任期では結果まで出せるかどうか。したがって今年、来年で、前倒しでいい方向に流れているなど市民に感じてもらえるようにしたい。

問 藤田市政の2期、3期を拒むわけではないが、政治は1期ごとに結果を求められる。藤田市政も3年目に入り、スピード感を持って市政運営を行わないと、市民に結果がわかりにくいのではないのか。

答 一例として、最近では県内で最も早く小中学校のエアコン設置ができた。これは議会や市民の協力の下に推進できたが、今後も協力を得ながら積極的に取り組んでいきたい。

市政運営

市長はスピード感ある市政運営を

【今回の一般質問】
・施政方針
・公共施設の在り方
・移住・定住の施策



はせがわともじ
長谷川知司議員

なかおかえいじ
中岡英二議員



市場の今後の取組みは

【今回の一般質問】

- ・市場の今後の取組み
- ・くぐり岩周辺の今後の環境整備
- ・花壇コンクールの取組み

くぐり岩

問 年々地方卸売市場の取扱数量が減っているが、その原因と今後どのように改善していくのか。

答 平成30年6月14日より、ある出荷者との取引を中止したことおよび本市が抱えているさまざまな問題・課題により、取引先からの信頼が低下した事が原因である。新たな産地を開拓・問題の早期解決により信用回復に努めたい。

問 市場の管理運営上、大事な売掛金・買掛金・差入保証金が年々増加しているが、減少させていく施策はあるか。

答 売掛金・買掛金は規約をつくり、取締役会で協議している。差入保証金についても取締役会で協議している。

くぐり岩周辺の環境整備を早期に

問 くぐり岩周辺は多くの観光客が訪れているが、案内板等の受け入れ態勢が不十分である。今後の環境整備とPRをどのように取り組んでいくのか。

答 昨年山口ゆめ花博において本市のPRパネルで紹介され、また厚狭駅でもパネルを設置し観光客が増えている。「道が分かりにくい」という声もあり、県道からの案内板を設置したい。将来的には、狭い道路の解消や駐車場やトイレの整備を考えていきたい。



観光客が増加するくぐり岩



成年後見

問 成年後見制度利用促進法の基本計画に基づく中核機関設置への取組み状況はどうか。

答 成年後見制度の利用促進をはじめ、支援を必要とする人が適切なサービスを利用できるような仕組みづくりが必要である。国や県の状況を踏まえて、近隣市や関係機関とも連携し、本市の実情にあった取組みについて検討する。

問 中核機関設置は市の義務か。

答 令和3年度までに市町村において基本計画を策定するとともに、中核機関を設置する努力義務である。

資格取得に助成制度を

問 本市の訪問介護の現状と課題はどうか。

答 市内の訪問介護事業所は平成31年3月現在で14の事業所で従事者は123名である。厚労省が発表した介護労働者実態調査の中で訪問介護を担う介護職員の平均年齢が48.6歳で、そのうちの60歳以上が19%を占めている数字を見ると、高齢化の傾向が見られる。将来を見据えた上では、このあたりが課題になってくる。

問 住み慣れた家で長く生活したいと思う高齢者が増え、訪問介護に従事する介護職員を1人でも多く養成する必要があると考える。実務者研修・初任者研修の資格取得に係る経費に対し一部なり全額の助成制度を検討できないか。

答 いろいろな分野で人材が不足している中で、直ちに介護福祉士やヘルパーに助成制度は困難であると考えます。

成年後見の窓口となる中核機関は

【今回の一般質問】

- ・成年後見制度利用促進
- ・訪問介護



すいづおさむ
水津治議員



通学路整備や不審者対策は万全か

【今回の一般質問】

- ・学校給食の現状と課題
- ・通学路の交通安全対策
- ・不審者対策

通学路整備

問 日々行き来する、小・中学校の通学路の安全確保は万全か。

答 危険箇所が見つかった場合、教職員が現場確認を行うとともに、当該通学路を利用する児童生徒を集め現場の現状を説明するとともに、危機回避の方法や注意すべき事項を指導している。また、保護者や地域の方々への情報提供も行っている。

問 散歩中の園児や保育士が事故に遭い、死傷者が出ている。本市の散歩道の安全確保は万全か。

答 年1回の施設監査の際にマニュアルの整備状況を確認している。私立公立の各園独自のマニュアルを用い、散歩ルートや施設周辺の危険箇所をチェックし、各保育士が共通認識を持って保育に当たれるよう情報共有を行っている。全園共通マニュアル作成は検討していない。

不審者から子どもたちを守れ

問 市内外で不審者が起こす事件が急増しているが、対策は万全か。

答 小・中学校では、各学校の学校安全計画を基に、より効果的な対策が行われるよう危機管理マニュアルの見直しを絶えず実施している。児童生徒への指導も、日常的に発達状態に応じて危険予測学習を実施している。幼稚園、保育園での対策として、防犯対応マニュアルを活用し年に数回不審者侵入を想定した訓練等を実施している。



全市民で不審者から子どもを守ろう



問 災害時でのタイムライン（防災行動計画）の運用において、住民への周知対策や河川の情報公開対策はどうか。

答 地方気象台や宇部土木建築事務所等からの情報収集で判断して市民に伝え、逃げ遅れゼロを目指す。対策である河川の簡易型水位計設置や排水ポンプ稼働状況の公開はまだやっていない。

ペットの災害避難対策は？

問 率先避難の体制づくりが本格化する中で、福祉避難所を含む避難所の受入体制およびペット同伴の避難対策はどうか。

答 避難所に避難後、福祉避難所への移動が必要とされたら、家族の車両で移動することを原則としている。また、ペットの避難は、避難所において飼い主とペットを同室にしない同行避難としており、同室で過ごすことのできる同伴避難は考慮していない。また、日頃からペットに対する衛生対策やしつけを心掛けるように飼い主の方をお願いしたい。

問 市民の健康維持増進対策において、総合計画を基に各プランが策定されているがそのすみ分けと関連部門との協働はどうか。また、高齢者の運動習慣促進策はあるか。

答 笑顔で年を重ねることのできるまちづくりを「スマイルエイジング」として推進本部を設置した。大和市健康プログラムまではいかないが全庁的に今後進めていく。提案の高齢者用健康遊具の設置はスマイルエイジングの中でみていく。

スマイルエイジングの見える化は

【今回の一般質問】

- ・防災体制
- ・市民の健康維持増進対策



◎賛否の分かれた議案です

5月臨時会で議案等5件を、6月定例会で議案等4件を審議し、賛否の分かれた3件を掲載しています。その他については、全員賛成で可決しました。

全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

令和元年 5月臨時会・6月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																					
		伊場勇	大井淳一朗	岡山明	奥良秀	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	水津治	杉本保喜	高松秀樹	恒松恵子	中岡英二	中村博行	長谷川知司	藤岡修美	松尾数則	宮本政志	森山喜久	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	小野泰
令和元年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
埴生地区複合施設整備事業(建築主体工事)請負契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権または欠席
小野泰議員は議長であるため、賛否の結果はありません。

お知らせ

9月定例会会期日程(予定)

本会議の日程

9月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

一般質問は午前9時30分からです。

月 日	本会議
9月 4日(水)	議案上程・説明
9月12日(木)	一般質問
9月13日(金)	一般質問
9月17日(火)	一般質問
9月18日(水)	一般質問
9月19日(木)	一般質問
9月27日(金)	質疑・討論・採決

編集室より



早稲田大学マニフェスト研究所が実施している「議会改革度ランキング2018」が発表され、本市議会は1447議会中22位と、昨年よりもさらにランクアップしました。昨年に続き、情報共有の項目での順位が高かったようです。今後もさらなる議会改革を目指して、しっかりと議会活動をしていきます。

◎広報特別委員会

委員長 山田伸幸 副委員長 水津 治
委員 大井淳一朗 委員 岡山 明
委員 奥 良秀 委員 河崎平男
委員 河野朋子 委員 笹木慶之
委員 恒松恵子



《表紙の説明》 本山岬公園から階段を降りると、西側に見えるのがくぐり岩です。最近では、県内はもとより、九州や広島、関西、関東などからもカメラマンがやってきて、にぎやかです。潮が引いたときしか行くことができないので、情報を確認して下さい。